

「地域防災データ総覧災害統計編」について

財団法人消防科学総合センター

研究員 黒田 洋 司

はじめに

当センターでは、地震災害・火山災害編風
水害・火災編危険物災害・雪害編地域避難編
災害情報編防災教育編, 防災地図編, 自主防
災活動編防災まちづくり編に引き続き「地
域防災データ総覧災害統計編」を刊行した。
本稿では、その全体構成及び収録災害の概
要についてご紹介する。

1. 全体構成

本書は、昭和 63 年から平成 3 年までの都
道府県を単位とした個々の災害の被害等に
関するデータ(「災害年報」)を、当センター
が構築した「災害情報データベース」の機能
を用いて多様な角度から検索・集計し、その
結果を掲載したものである(「災害情報デー
タベース」の概要については、1993 年夏号を
参照。)

本書は、検索・集計結果の概要を示した
「概要」、検索・集計結果を示した「統計表」、
「災害年報」、 「災害情報データベース」に
ついて概説した「付録」の 3 つに分かれて
おり、「統計表」については、次の 17 の視点
から検索・集計した結果を掲載している。

A: 全体集計

B: 都道府県別の集計

C: 主要災害種類別・都道府県別の集計

D: 死者・行方不明者の出た災害

E: 負傷者の出た災害

F: 消防職員が出動した災害

G: 消防団員が出動した災害

H: 都道府県で災害対策本部を設置した災
害

I: 市町村で災害対策本部を設置した災害

J: 罹災者 100 人以上の災害

K: 被害総額 100 億円以上の災害

L: 電気被害のあった災害

M: ガス被害のあった災害

N: 水道被害のあった災害

O: 電話被害のあった災害

P: 電気, ガス, 水道, 電話の全てに被害の
あった災害

Q: その他主な被害項目別被害災害リスト

(住宅全壊の被害があった災害)

(住宅半壊の被害があった災害)

(病院に被害のあった災害)

(港湾に被害のあった災害)

(清掃施設に被害のあった災害)

(鉄道不通の被害のあった災害)

(船舶に被害のあった災害)

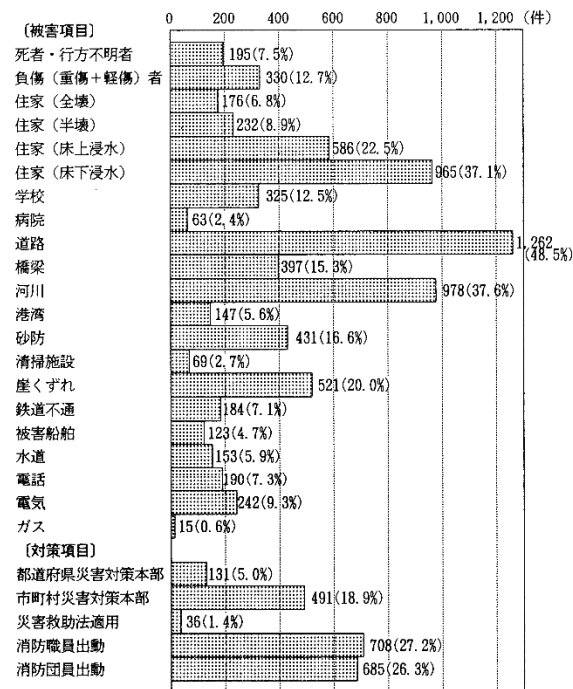
D~P では、該当災害名、該当災害の発生し
た都道府県名、被害状況等のリストも集計
結果とあわせて掲載している。

2. 収録災害の概要

検索・集計の基になっている都道府県から消防庁への「災害年報」の報告災害(昭和63年～平成3年)の概要は次のとおりである。報告件数は2,602件で、年平均650件程度となっている。災害の種類別にみると「大雨」が1,226件(47.1%)とほぼ半数を占め、次いで「台風」472件(18.1%)、「強風」229件(8.8%)などとなっている。

被害項目別にみると、「道路」に被害のあ

った災害が最も多く1,262件(48.5%)、次いで「河川」978件(37.6%)、「住家(床下浸水)」965件(37.1%)などとなっている。対策項目別にみると、消防職員及び消防団員が出動した災害は約3割、市町村で災害対策本部を設置した災害は約2割などとなっている(別図)。本書には、これらの災害について都道府県別、災害の種類別等の集計を行った結果が掲載されている。



合計：2,602件(100.0%)

(別図) 被害項目・対策項目別報告件数(S63-H3の通算)